

## 平成27年度第1回大泉町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成27年11月26日(木)午後1時30分から午後2時20分まで

### 2 出席者

【会議構成委員】 村山町長、教育委員会委員(寺西委員長、高倉職務代理、福田委員、秩父委員、増尾教育長)

【事務局】 上村総務部長、笠松総務課長、中村法規行政係長、久保田主査、金井教育部長、青木庶務課長、岩上学校教課長、大澤生涯学習課長、関本スポーツ文化振興課長

### 3 協議事項

- (1) 総合教育会議運営要綱(案)について
- (2) おおいずみ教育大綱(案)について

### 4 その他

- (1) 今後の予定

## 【要旨】

### 1 開会

### 2 町長あいさつ

村山町長からあいさつ。

### 3 教育委員長あいさつ

寺西委員長からあいさつ。

### 4 協議事項

#### (1)総合教育会議運営要綱(案)

○資料1「大泉町総合教育会議運営要綱(案)」を事務局から説明。

○原案のとおり了承。

○質疑・意見交換等

(寺西委員長) 今後、総合教育会議の会場はどちらですか。

(青木庶務課長) 基本的には町の会議室で実施する予定です。

#### (2)おおいずみ教育大綱(案)について

○資料2「おおいずみ教育大綱(案)」を事務局から説明。

○原案のとおり了承。

○質疑・意見交換等

(福田委員)

大綱はより具体的にし、基本目標については変えた方がよい。基本目標が「あいさつ」では、大泉町は「あいさつ」もできないのかと。「あいさつ」はあくまで手段であって目

標ではないからそれを目標にするのは非常におかしい。例えば、外国籍の生徒が多いから多文化社会をより良くしようとか、義務教育がみだれているのでそれを再生しようとか、そのためにどこかに「あいさつ」をしっかりとしようとするなら私は反対しない。

もうひとつは具体的に例えば弱者に優しい大泉町とかを目標にしてもいいと思う。もう少し具体例を目標に掲げた方がよい。

(村山町長)

事務局としては、スローガンを基本目標に据えています。

「あいさつ」に関しては、「あいさつ」ができない職員がいる。当たり前ことは書かなくていいだろうというのを敢えて書くというのは、そういうことに関して、やはり欠如している現れだと思う。

具体的な部分に関しては、漠然とし過ぎている部分もあるし、また、大泉町は全国的にも外国人が非常に多い町でクローズアップされ、生涯学習の交流の中でも日本人と外国人では考え方の違いが沢山あります。

基本目標はスローガンという形であっても、もう少しステップアップした、よりステージが高いものを目指し、大綱については、教育行政における様々な施策を進めいく中で検討を加えていくということになると思いますがいかがでしょうか。

(福田委員)

スローガンを設けても良いと思いますが、目標とスローガンは違います。目標というのは常識を持った町にしていこうとか、ある目標があるためにやっている。だから、あいさつ、意欲、学び合いを目標にもってくるのはではなくてこれは手段。手段はスローガンとしてあげていいと思う。

(金井教育部長)

大綱に基づいて具体的な施策を進めていく必要がありますが、施策については教育行政方針の中に盛り込んで実施していきたいと思います。

(村山町長)

後期基本計画と大綱は整合性が必要だと思う。ただ、同じものを目標にするのではなく新たにということであれば意見を聞いて次回の会議で検討となるが。

(金井教育部長)

時間的制約があるため、本日検討していただければと思います。

(寺西委員長)

平成27年度の「教育行政方針」の中で基本理念があるわけですが、これを基本目標とするのはどうでしょうか。ほかのまちでは、「あいさつ」のようにこれに近いものもあれば、基本理念に近いところもあります。

(金井教育部長)

大綱は総合的な施策であり、総合計画を根幹とする計画であります。そのため、後期計画の目標についてを引用させていただければと思います。

(福田委員)

「教育不易流行 日々新たなり」と言うことで、よくない所はどんどん直していくと、良い所はどんどん伸ばしていくと。この目標はあくまで手段であるから目標にするのはおかしい。目標はやはり文章で書いた方がよいと思います。

(高倉職務代理)

前回の会議において、部長会で協議するとおっしゃってましたが、話し合われた内容をお聞きしたいのですが。

(金井教育部長)

部長会では、目標は総合計画の中の言葉を引用し、「不登校」や「地域公民館」など、根幹部分を総合計画の中から変えたということで提案させていただきました。

本来、大綱というものは具体的なものにしておくのではなくて、大枠の概略の部分であるからその進行管理をしっかり行うべき、ということ意見をいただきました。

(増尾教育長)

目標が「あいさつ」であっても、中身が違うと思います。より高い「あいさつ」を目標に考案して理解していく。この目標の「あいさつ」は、幅広い意味を内包していると思います。年代や人によって「あいさつ」の質や意味は違ってくるでしょうし、むしろそうした柔軟な広い意味を包含している基本目標と理解すればよいのではないのでしょうか。

(寺西委員長)

「あいさつ」という言葉の裏にはいろいろな意味がたくさんあるんだよと。人によってこの目標で物足りないと感じるのでは。

(福田委員)

いろんな取り方は確かにできるんですよね。生き残る人材を作るとか、社会に出て自分を活かせる人材づくりといったものを目標にできると一番いいかなと思ったんですよね。間違いではないですが、「あいさつ」は淋しいなと思うんですよね。

(村山町長)

町の独自性が出せれば一般的に言えばきれいでしょう。「あいさつ」は常識的なことですから。子どもの時から「あいさつ」をしろと言われてることで、うちはあたりまえのことができてないからやりましようって... 時間的に考える余裕はあるのか。

(金井教育部長)

町民に意見を聞く機会はこのあとにあります。最終決定は次回の教育委員会議を開いて最後に決定します。

(秩父委員)

独自色にこだわる必要はないと思います。

(村山町長)

大泉町はスローガンの目標として、そして、いろいろなご意見、新しい事業を取り入れていきたい。

フリースクールですが、不登校になると職業の選択が狭まったり、高校受験もできない状況になる。そうならないよう、私たち大人が手を差し伸べてあげなくてはならない。フリースクールに関して、ご意見ご提言があればいただきたい。

(福田委員)

いろんな人の意見を戦わせるのがこの会議の有意義だと思います。

## 5 その他

### (1) 今後の予定

○パブリックコメントを12月上旬から翌年の1月中旬にかけて実施予定。